

日時・場所	平成29年8月28日(月) 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、大藤議会議務局長、寺田政策調整部長、上田総務部長、田中市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、遠藤環境経済部長、竹中教育部長、川端会計管理者、北脇広報秘書課長、事務局(企画調整課)

1. 市長指示事項

- ・ 今週、市議会定例会が開会する。現議員としては任期中最後の定例会となり、それも踏まえ、建設的なやり取りができる良い議会となるよう努めること。
- ・ 昨日、野洲高校において、第2回目の避難所開設・運営研修会を開催した。多くの方に参加していただき、好評であった。避難所の開設・運営に視点をあてて、災害時の対応を考え、身につけることは大切である。他のまちづくりの分野でもヒントになることが多分にあるので、参考にと。講師の話で印象に残ったのは、「避難所には数百人の市民が入るが、行政職員は数人しか対応できない。だから実質的には避難者がルールを決めたり、やり取りをしたりしなければならない。避難所を開設するのは市であるので、往々にして市がすべてを行うべきとなりがちだが、それは対応できる人員を考えるとあり得ない」という話であった。この点、参加者は理解していただいたと思う。考えてみれば、避難の場合だけではなく、子育て支援や高齢者支援といった行政サービスも同様で、一定の限界がある。避難時と日常を同一視はできないが、市民とともにまちづくりを進めていくという形でないとこれからのまちは運営できない。市としての責任は十分に自覚した上で、みんなで力を合わせていく、知恵を出す、ルールをつくるという姿勢で、これからのまちづくりに臨むこと。
- ・ 市内の行事に参加すると、早く市民病院を整備してほしいという苛立ちに近い意見を聞く。それは市民の声としてしっかり受け止めなければならない。バイアスをかけているわけではないが、議員の動きとは異なっているので気になる。先日の議会運営委員会において、30日の市議会定例会開会日に住民投票実施の議員発議がされ、最終日に採決されることとなった。当初は開会日の30日に採決となっていたが、議員間の議論、私も意見を言った結果、前回の議会でも市が提案し可決された住民投票関連予算には付帯決議がついており、それを削除せずに別途住民投票実施の議員発議をし、採決しようとすることは筋が通らず、委員会審議を経た上で、最終日に採決されることとなった。
- ・ 先週金曜日、定例の市長会議において、国体の主会場に関する県からの説明があった。彦根市が主会場となるが、彦根城の側にある金亀公園という市の公園を拡大して都市公園とし、主会場である運動公園にするとのことである。現公園の設置者は彦根市であり、普通はそのようなことはしない。新たに県が整備すればよいだけである。費用については、拡大する部分は県が負担するとのことであるが、正式に決まっていない。なぜこんなことをしているのか理解できず、禍根を残す。もう一つ気になったのは、主会場の敷地における地盤について、支持層までの深さが以前は13m～15mとなっていたのが、今回示された図面では、以前から私たちが問題提起してきたとおり、少なくとも35mになっており、大きく変更されている。状況が変わったら公開して見直さなければならない。これらについて、多くの首長は懸念を示した。こんなやり方をしていたら県民・市民の信頼を得られない。本市はそのようなやり方をしていないが、他山の石として、これまでどおり、しっかりと説明責任を果たし、ルールを守った上で各事業を進めること。

2. 報告事項

① 「総合計画ロードマップ」及び「行財政改革推進計画」に関する入力作業及びヒアリングへの出席について

[所管: 政策調整部]

平成29年度中間ヒアリングは、第2次野洲市総合計画の策定準備として、ロードマップ掲載の全事業について確認を行うため、また、総合計画と予算編成を連動させ、限られた財源の中で事業の優先順位の調整を図るため、例年の作業に加え、企画担当者によるヒアリング(9/15～9/26)を追加で行うので協力願う。

また、毎年実施している「行財政改革推進計画(平成26年8月策定)」のヒアリングについても、ロードマップ企画担当者によるヒアリングと同時に実施するので作業及びヒアリングへの出席を願う。ファイルの入力・提出期限は平成29年9月6日(水)まで。

なお、企画担当者ヒアリングの後、10/3と10/4に政策調整部長ヒアリング、10/11と10/12に市長ヒアリングを予定している。

→各部の課題解決に向けた骨格と展望を前提に進めること。道路整備、土地利用、子育て支援、

高齢化対策、産業振興、防災、文化等の課題を押さえ、それらを仮説として設定した上で、計画を策定していくことが必要である。

→今後総合計画を策定していくにあたり、まちづくりの方向性や予定等を示す研修会のような場を設定したいと考えている。なお、本作業工程は、例年行っているロードマップの進捗管理として実施する。

→行財政改革は、新しい課題に優先的に取り組んでいく中で、劣位のを抑え、より優先度の高いものに転換していく方針で実施すること。単に「削減する」という考え方ではいけない。

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- 昨日、2回目の避難所開設・運営研修会を開催し、参加者数は144名であった。見学者も多数であった。研修の内容は、9月10日に開催される県総合防災訓練の会場において放映される。さらに、9月10日午前6時50分からびわこ放送で放映予定、10月には県が防災特別番組を企画される予定である。(市民部)
- 8月25日、比江農村公園で排水管が破損し、早急に対処する。(環境経済部)
- 野洲川斎苑の排ガス中のダイオキシン濃度の再分析調査を行った結果、第2系統(3号炉・4号炉)において、ダイオキシン濃度が自主基準値(1ng-TEQ/m³N)を超過した。このことから、31日に運営委員会を開催し、今後の対応を協議する。(環境経済部)

5. 次回部長会議の予定

9月4日(月) 8時45分～ 庁議室